

災害の歴史

| 年 | 主な災害(共済金支払状況) |
|---------------|--|
| 昭和21年 | 村松大火(死者2人) 建物被害、全焼・焼損1,337棟、消失・焼損面積135,231㎡ |
| 昭和30年 | 新潟市大火(行方不明者1人) 建物被害、全焼・焼損892棟、消失・焼損面積214,447㎡ |
| 昭和36年 | 第2室戸台風 建物被害、全壊2,581棟、半壊1万8,145棟 |
| 昭和39年 | 新潟地震(死者14人) 建物被害、全壊3,277世帯、半壊10,966世帯、床上・下浸水13,217世帯 |
| 昭和41年 | 7.17の集中豪雨で水害 水稲共済、支払共済金 約8億円(過去第7位の額) |
| 昭和42年 | 8.28の集中豪雨で水害(羽越水害・死者96人・行方不明者38人) 建物被害、全壊1,069棟、半壊2,062棟、床上浸水1万5,214棟 水稲共済、支払共済金 約12億円(過去第5位の額) 家畜共済、多くの溺死事故が発生し本県初の異常事故 |
| 昭和51年 | 低温、少照、多雨で冷害、いもち病多発 水稲共済、支払共済金 約16億円(過去第3位の額) |
| 昭和55年 | 7月以降低温、寡照、山間地でいもち病が多発生、高冷地で冷害 水稲共済、支払共済金 約10億円(過去第6位の額) |
| 昭和56年 | 5、6月の低温日照不足、台風15号 果樹共済、支払共済金 2億2,544万円 全樹種(ぶどう、なし、かき)と、ぶどう樹体共済で異常災害。 |
| 昭和57年 | 台風10号のフェーン風、台風18号の豪雨被害 水稲共済、支払共済金 約13億円(過去第4位の額) |
| 昭和58年 ～59年 | 昭和59年豪雪(死者34人) 建物被害、全壊14棟、半壊5棟、床上浸水17棟、床下浸水188棟 |
| 平成3年 | 4月・晩霜、5月・降雹 |
| | 9月・台風19号(新潟地方気象台最大瞬間風速45.5m/s観測史上最大) 果樹共済、全樹種に被害が発生、支払共済金 2億5,822万円 園芸施設共済、過去最高の金額被害率、支払共済金 1億8千万円、金額被害率・4.9% |
| 平成5年 | 全国的な大冷害(記録的な低温・少照) 新潟県の作況指数89「著しい不良」 水稲共済・支払共済金・約24億円(過去第2位の額) 大豆共済、過去2番目に高い金額被害率・10.5% 果樹共済、結実不良、異常落果が発生 |
| | 8月・台風11号、9月・台風13号等 果樹共済、落果被害が発生、支払共済金 2億2,029万円 |

災害の歴史

| 年 | 主な災害(共済金支払状況) |
|-------|--|
| 平成8年 | <p>4月・記録的な降雪、6月、8月・強風、9月・低温等 果樹共済、全樹種で被害が発生、支払共済金 1億7,160万円</p> |
| 平成10年 | <p>集中豪雨(新潟市の日降水量265mm)、台風5号、7号、10号等 園芸施設共済、支払共済金 1億8千万円、金額被害率・2.8%</p> |
| 平成16年 | <p>7.13梅雨前線豪雨(死者15人) 建物被害 全壊70棟、半壊5,354棟、床上浸水2,141棟</p> |
| | <p>相次ぐ台風襲来(6号、15号、16号、18号、21号、22号、23号等) 水稲共済、支払共済金・約27億円(過去最高額) 大豆共済、過去最大の被害、 支払共済金 2億9,163万円、金額被害率・20.6% 果樹共済、収穫共済全樹種で異常災害、制度始まって以来最高の 支払共済金 4億1,646万円 園芸施設共済、過去最高の支払共済金 1億9千万円、金額被害率・2.6%</p> |
| | <p>中越大震災(死者67人) 建物被害 全壊3,175棟、大規模半壊2,166棟、半壊1万1,638棟 建物共済、震災関係支払共済金 約24億円 山古志村全村避難、取り残された牛を陸・空から救出。 家畜共済、震災関係支払共済金 約2,380万円</p> |
| 平成19年 | <p>中越沖地震(死者11人) 建物被害 全壊1,244棟、大規模半壊824棟、半壊4,423棟(10月15日現在)</p> |
| 平成22年 | <p>水稲登熟期の記録的な高温、少雨による品質低下被害 うるち米一等級比率が過去最低の21% 水稲共済品質方式の支払共済金は約4億円(平成16年の導入以来最高額) 宮崎県で口蹄疫が大流行</p> |
| 平成23年 | <p>平成23年7月新潟・福島豪雨(死者4人) 建物被害 全壊41棟、半壊808棟、一部損壊31棟(平成23年12月28日現在) 水稲共済、支払共済金 約8億円(過去第8位の額) 大豆共済、過去2番目の被害 支払共済金 1億4,173万円、金額被害率7.4% 果樹共済、ぶどう、なし、ももに甚大な被害 6月下旬の多雨、日照不足により、かきで異常な落果被害が発生 支払共済金 1億7,039万円</p> |
| | <p>長野県北部地震 建物被害 全壊29棟、半壊258棟、一部損壊2,088棟(平成24年3月9日現在)</p> |
| 平成24年 | <p>4月の爆弾低気圧(佐渡市最大瞬間風速43.5m/秒) 園芸施設共済、支払共済金 過去最高の2億4千万円、金額被害率3.1%</p> |

災害の歴史

| 年 | 主な災害(共済金支払状況) |
|-------|--|
| 平成25年 | 記録的な多雨により、そば共済で過去最大の被害 そば共済、支払共済金 2,958万円、金額被害率28.8% |
| 平成27年 | 8.25～26日の台風15号(風害)、9.9～10日の台風18号(水害)による被害 水稲共済、支払共済金 約11億円 下越北地帯の作況指数 91「不良」 |
| | 4月の降霜、8月の台風15号、病害によりなしに甚大な被害 果樹共済、支払共済金 1億2,581万円 |
| 平成30年 | 7月～8月の高温少雨、8月の強風、台風21号等 水稲共済、支払共済金 8億4,037万円 佐渡の作況指数 86「著しい不良」 |
| 令和元年 | 水稲出穂後のフェーン、出穂前後の長期にわたる高温により品質低下被害 コシヒカリ等級比率が25.7% |
| 令和2年 | 7月の多雨、8月以降の高温少雨により大豆共済で過去2番目の被害額 支払共済金1億7,307万円、金額被害率12.8% |
| | 12月、1月の記録的な豪雪 園芸施設共済で支払共済金 2億2千万円、金額被害率2.0% |
| 令和6年 | 能登半島地震(死者6人) 建物被害 全壊111棟、半壊4,163棟、一部損壊21,264棟 建物共済、支払共済金 12億9,516万円(令和8年3月31日現在) |